

平成 26 年 10 月の市民の声（全 7 通のうち 6 通）

市民の声の内容とそのお返事の一部を紹介します。

◇遊歩道紹介のお願いについて

【ご意見・ご提案など】

大崎地区で、ぼたん山(坊谷山)を活性化のため「坊谷山遊歩道の会」を組織し、ガードパイプや階段の整備などの活動をしています。遊歩道を市ウェブサイトの観光関連ページに載せていただけないでしょうか。

【お返事】

市のウェブサイトをご覧になっていただくと分かりますが、観光に関するページは、トップページ「観光情報」の項目のみであります。そこをクリックすると「観光ガイド」「観光施設・スポット」に進みますが、残念ながら市では貴会からお問い合わせのあった遊歩道を紹介するようなページを、今現在は設けておりませんので、ご理解のほどお願いいたします。

しかし、市では「南魚沼市観光協会」や地元の「大和観光協会」で個々の具体的な観光情報をウェブサイト等で掲載しています。現地確認後に、市観光協会の Facebook に掲載して紹介させていただくことになりました。

その後に、ウェブサイト等で紹介するかどうかについては、今後の登山道の整備状況等を確認し、また、受入側（貴会）での準備が整っていくまで、市観光協会と調整をしながら準備を進めていくということで、ご理解をお願いします。

また、今回の貴重なご意見につきましては、今後の市ウェブサイトの観光情報発信の参考にしていきたいと考えております。

（担当：商工観光課）

◇市内児童・生徒が参加する野球大会の市報等の掲載について

【ご意見・ご提案など】

当市ホームページや市報で、大原運動公園野球場でアルビレックスの試合があったなどと大きく報じられていますが、市内の子どもたちががんばって参加した大会、たとえば中学校の郡市大会や学童野球の記事はありません。

最近では野球をする児童・生徒数も減少し、学童野球チームや学校部活動の合併等が行われています。大会で子どもたちが活躍している様子をホームページや市報で掲載していただければ、大きな広報効果があるものと考えます。ご検討いただけないでしょうか。

【お返事】

ご指摘の市内児童・生徒が参加する野球大会の市報等の掲載については、今まで市報や市ウェブサイトに掲載はしておりません。これは、広報の意図として、掲載しないと決めているものではなく、児童・生徒が参加するスポーツ大会は、野球に限らず、陸上、水泳、サッカー、柔道など、多種にわたり、すべてを取材することが困難なために、特定の種目だけを取材をしてこなかった経緯があります。

また、スポーツ関係の広報要望は、児童・生徒に関するものに限らず、成人や高齢者からもあります。やはりすべての要望に応え、取材・広報をすることは難しい現状があります。

今後のスポーツ関係の広報につきましては、単年度ですべての年齢層や種目を取材・広報することは、難しいと考えますが、年度ごとに取材計画を立て、可能な範囲でスポーツ大会の広報を充実するように改善を図っていきたいと考えております。

今後とも市の広報について、ご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(担当：秘書広報室)

◇都市計画の変更に関する説明会について

【ご意見・ご提案など】

都市計画の変更に関する説明会に参加した者です。自分の住む地域の将来計画に関わる重要なことなので、仕事を早く切り上げて参加しました。

説明してくださった担当者も一生懸命説明をしようとしているとは思いましたが、発表に慣れていない人のようで、説明が非常にわかりにくく、困ってしまいました。私のような一般人にとって、資料がわかりにくいことは仕方ないとは思いますが、このような説明会を開催するに当たっては、わかりやすく説明できる人が説明者となるべきで「担当者だから」ということで決めてはいけないのではないのでしょうか。

計画を変更して、今後どのような整備が進んでゆくのか、そのスケジュールの説明がありませんでした。まずは説明会の趣旨と全体像を明らかにして欲しかったです。

また、この説明会やパブリックコメントの後に、一度も再検討する予定がないことに違和感を覚えました。長岡技術科学大学の先生を交えた検討会で決まったことかも知れませんが、住民の意見を広く聞いて、再検討する予定すらないのでは、このような説明会やパブリックコメントは「アリバイ作り」で行っていると捉えられても仕方ないでしょう。大学教授や有識者だって、地域の人意見を聞いたのとそうでないのとでは意見が変わるかもしれません。

最後に、説明会に参加した年配の方々の思いの強さを感じました。30数年前にできた計画ですが、「当時はこんな説明だった」といった話を初めて伺い、こういったことを私たちが知っていれば、今後の参考になると思いますので、より多くの人に参加できるような広報の工夫や、本件に限らず、年代を超えて地域の人意見交換できるような機会があればと思いました。

【お返事】

ご指摘のありました説明会について、説明内容や説明そのものが分かりにくいものになってしまい、大変申し訳ありませんでした。今後は要点をおさえた分かりやすい説明をするように心掛けていきたいと考えております。

今回説明させていただいたものは、見直し検討会でまとまった見直しの素案であり、この素案がすぐに決定というわけではありません。

見直し検討会には学識経験者のほかに、地域振興局などの県の機関や警察などの関係団体、市役所庁内からは関係部局に合わせ、大和・塩沢市民センター長も委員となっており、地域の意見を反映させるように努めましたが、地域の意見が十分生かされなかった部分もあるかも知れません。

今後、パブリックコメントなどの意見聴取を行い、市民の皆さんの合意形成を図りながら原案を作成し、平成27年度末の都市計画決定に進んでいきたいと考えております。

より良い原案となるよう引き続きご提言をお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。

(担当：都市計画課)

◇訪問の日程調整について

【ご意見・ご提案など】

こちらからお願いをして来てもらいましたが、日程は利用者の都合など関係なく決められたように感じます。せめて再度の調整を検討してもらいたかったです。依頼して来てもらう人達は休日なんてあまり関係ないのですが、利用するほうとしては大切なことだと思います。人材の確保や調整が難しいと思いますが、その辺は利用する立場で考えていただきたいものです。

【お返事】

ご意見にあります「日程は利用者の都合など関係なく決められたように感じます。せめて再度の調整を検討してもらいたかったです。」につきましては、利用される人の状況を考慮して対応していくことを、あらためて職員に周知し、市役所全体の問題ととらえ、改善を進めてまいります。

また、関係機関にも同様に改善を求めてまいります。

ご不便をおかけして大変申し訳ございませんでした。

(担当：福祉課)

◇市制施行 10 周年記念コンサートについて

【ご意見・ご提案など】

「ふるさと新潟の童謡（うた）」が市制施行 10 周年記念コンサートなのは理解できますが、「ORANGE RANGE テブラ DE ゴメン 014」が市制施行 10 周年記念コンサートになるのかが少し理解できません。

【お返事】

昨年 4 月に開校した市立総合支援学校の校歌が一つのご縁になっております。ご承知かもしれませんが、総合支援学校の校歌は、作詞を「ハイキングウォーキング」の鈴木 Q 太郎さん（南魚沼市出身）が担当され、作曲を人気ロックバンド「ORANGE RANGE」のリーダー広山直人さん（親族が南魚沼市出身）が担当して制作されました。

その歌詞は、
春つげる コブシのように
強くたくましく 咲き誇ろう
僕も私も 笑いあい
輝く未来に飛び出そう

空つかむ 稲穂のように
すくすく元気に 伸びてゆこう
僕も私も手をつなぎ
輝く未来に飛び出そう

真っ白な 雪のように
きれいな心で 生きてゆこう
僕も私も 希望を持ち
輝く未来に飛び出そう

と、地域が手を取り合って協力し合い、未来に向かおうとする希望に溢れたものとなっております。また、総合支援学校の児童・生徒たちの中にも「ORANGE RANGE」を一目見てみたいと希望する声があり、一度は南魚沼市でコンサートの開催をしていただけるよう要請していたところです。

この度、「ORANGE RANGE」側もこの意をくんでいただき、市制施行 10 周年の節目の年にコンサートを開いていただける運びとなり、10 周年記念事業として取り組むことといたしました。

通常、コンサートとなると多額の費用がかかりがちですが、今回はコンサートの企画会社のご配慮により収益事業として実施することで、市の負担は極力少ないものとなっております。コンサート当日は、参加を希望する総合支援学校の児童生徒も楽しめるよう特別な区画（席）を用意するほか、六日町高等学校吹奏楽部とのコラボレーションを企画していただいたり、地域の文化振興や活性化に繋がる要素を盛り込んでいただいております。

このようなことから、市制施行 10 周年記念事業にふさわしいコンサートになるものと期待していますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

（担当：企画政策課）

◇病院バスの有料化について

【ご意見・ご提案など】

病院バスを有料化にしたらどうでしょうか。個人的に行く人だって、ガソリン代、タクシー代などが必要です。今の高齢者の中には、お金に困っている人は少ないはずですが、市の経費もいろいろ必要ですよ。税金の無駄をなくすためにも1回100円位にしたらどうですか。

【お返事】

現在、病院バスは浦佐・五箇・藪神・大崎・赤石・三用地区の5方面に大和病院への送迎用として無料で運行しております。

市では、交通事業者と市内全域の市民バスの再編を進めており、大和地域におきましても、平成27年4月から、現在の病院バスとほぼ同じ路線で市民バスを運行する予定です。

これにより、現在運行しております病院バスは、平成27年3月末で廃止を予定しており、ご意見をいただきました有料化につきましては、現在検討しておりません。

なお、市民バスの有料化につきましては、平成27年度内に実施を予定しておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(担当：大和病院庶務課・都市計画課)